

新型コロナワクチン接種後 抗体検査について

新型コロナワクチンの接種も進み、2回目の接種が済んだ方も増えてきました。ワクチン接種による中和抗体について、気になる方もいらっしゃると思います。人間ドックや健康診断を受診する際の採血を使用して、中和抗体の有無が調べられます。

対象：ワクチン接種後、**2週間**経過している方

検査方法：血液検査（人間ドックや健康診断時の採血を使用します。）

検査料金：**¥5,500（税込）**

申込方法：原則、受診日の3日前まで。（当日受付時でも可能です。）

検査結果：約1週間以内で郵送にて報告します。

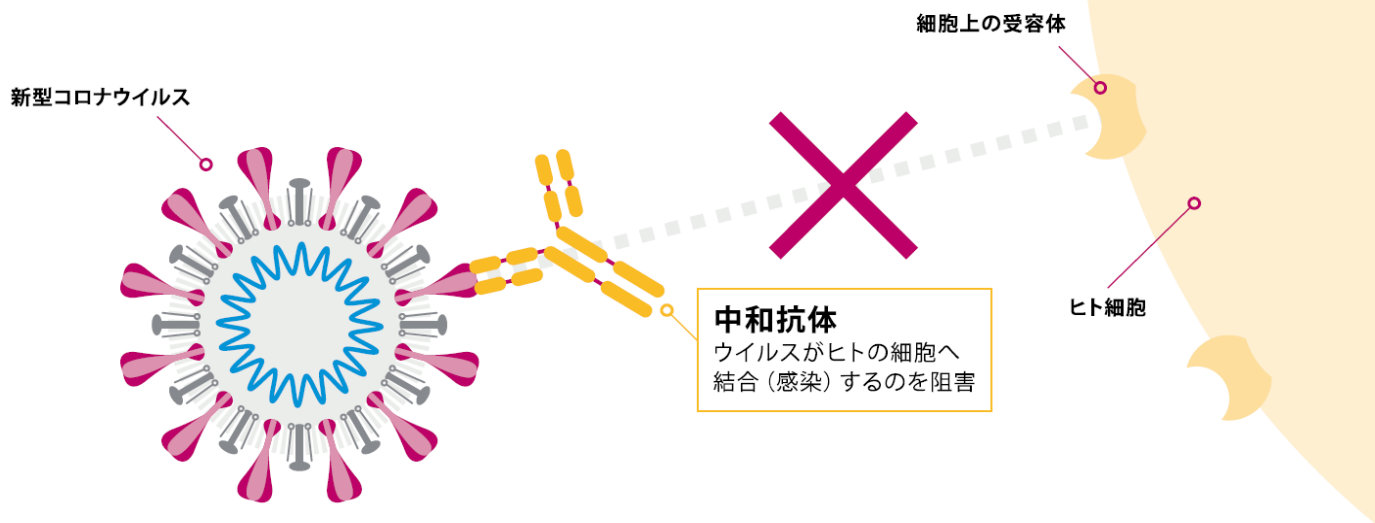
（人間ドックや健康診断の結果とは別になります。）

医療法人藤和会

藤間病院総合健診システム

ワクチンを接種して得られる中和抗体って何？

新型コロナウイルスと、ヒトの細胞が結合する箇所を阻害する抗体です。
新型コロナウイルスへの感染や重症化を防ぐ効果が期待されています。 ※ 3

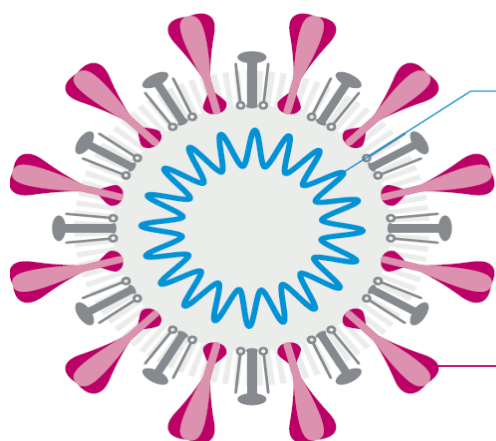


世界中で開発が進む新型コロナウイルスのワクチンは、
新型コロナウイルス表面のスパイクタンパク質に対する抗体を誘導します。
中和抗体の活性はスパイクタンパク質に対する IgG 抗体の値と関連すると考えられています。 ※ 3, ※ 4

抗体検査で調べられること

抗体はウイルス構造のいくつかの部位に対して産生されます。
抗体検査では特定のタンパク質に対する抗体をどれくらい持っているのか調べることができます。

新型コロナウイルスの構造



ヌクレオカプシドタンパク質 (N)

ヌクレオカプシドタンパク質に対する抗体 (IgG 抗体 (N)) の保有は、新型コロナウイルスに感染したことがある可能性を示唆します。



IgG 抗体 (N)
過去の自然感染を示唆

スパイクタンパク質 (S)

スパイクタンパク質に対する抗体 (IgG 抗体 (S)) は新型コロナウイルスに感染あるいはワクチン接種により中和抗体が産生された可能性を示唆します。



IgG 抗体 (S)
中和抗体が産生された可能性を示唆

出典：アボットジャパン合同会社資料より抜粋